

令和7年10月 日

保護者の皆様へ

## 芦城中学校 学びの道しるべ

小松市立芦城中学校

令和7年4月17日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果について以下のとおり、お知らせします。

### 1. 全国学力・学習状況調査結果（本校と石川県・全国との正答率の比較）

	石川県	全国
国語	やや下回る	平均並み
数学	上回る	大きく上回る

全国との比較においては、国語は平均並み、数学は大きく上回る結果となりました。県との比較においては、国語はやや下回る、数学は県をやや上回る結果となりました。本校の特徴として、問題をしっかりと読み取ることや、短答式の問題において課題が見られました。

### 2. 設問ごとの良好なもの（◎）と課題となるもの（△）

#### 国語

◎語句の正しい意味を選択肢から選ぶ問題がよくできていました。今後も語彙力を伸ばすために、小テストを行ったり、機会を捉えて語句の意味の確認を行ったりしていきます。

△文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたを捉える問題に課題が見られました。文章中から正しく読み取れていない生徒もいましたが、読み取っていても、設問の要求する適切な形で答えられていない生徒もいました。今後も授業や定期テストで、設問の条件に合った答え方を意識させる問題を取り上げ、問われた内容について適切な形で答えられるような練習をしていきます。

#### 数学

◎「グラフの何を読み取れば2駅間の走行距離を求められるか」を問う問題がよくできていました。普段の授業から、グラフは書くだけでなく、グラフから読み取れること、わからることに意識をおいて学習してきた成果が見られました。

◎「三角形の外角の大きさを求める」を問う問題ができていました。三角形の基本概念が定着していることが伺えました。

△「2つの平行四辺形が重なる部分の四角形が平行四辺形となることを証明する」の正答率が低かったです。証明に対する苦手意識もさることながら、長い問題文を読み取ることにも苦手意識が見られたことも原因として上げられます。また、初めて見る形の問題に対する適応力も今後の課題として取り組んでいきたいと思います。

△「Aの手元のカードが3枚とも「グー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にAが勝つ確率を書く」問題の正答率が県に比べて低かったです。基本的な確率を求める問題ですが、事象がやや複雑であることから、確率を求めるための本質を捉えることが難しかったと考えられます。

### 3. 質問紙調査の結果から良好なもの（◎）と課題となるもの（△）

- ◎「自分には良いところがある」、「友人関係に満足している」と答えている生徒の割合が高いです。
- ◎「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えている生徒の割合が高いです。
- ◎「人の役に立つ人になりたいと思う」と答えている生徒の割合が高いです。
- ◎「起床・就寝時間、朝食など規則正しい生活ができている」と答えている生徒の割合が高いです。
- △「新聞を読んでいる」と答えている生徒の割合が低いです。
- △「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と答えている生徒の割合が低いです。
- △「PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができる」と答えている生徒の割合が低いです。
- △「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と答えている生徒の割合が低いです。
- △「将来の夢や目標を持っている」と答えている生徒の割合が低いです。

### 4. 全国学力・学習状況調査、質問紙調査の結果を踏まえた取組について

#### 学校での取組

##### 基礎基本の定着に向けて

- ・各学年の学習状況に応じて、家庭学習の充実を図る取組を行っていきます。  
(週末課題の取組 等)
- ・朝学習におけるタブレット端末の活用、タブレット端末の持ち帰り学習の充実を図ります。

##### 活用力の向上に向けて

- ・文章や資料から読み取った情報をもとに、自分の考えを表現する活動に取り組み、情報活用能力の育成に努めます。
- ・授業では、根拠をもとに自分の考えを話したり、書いたりして伝える力を育成しています。
- ・意見の交流や調べ学習の場面などにおいて、タブレット端末を積極的に活用した授業実践に努めます。

#### ご家庭にお願いしたいこと

- ・起床・就寝時刻や家庭学習の開始時間、食事等、規則正しい生活習慣と学習習慣の形成に向けた支援へのご協力をお願いします。
- ・親子の会話の時間をつくりましょう。頑張りを褒めたり、話を聞いてあげたりするだけで生徒は安心感や安定感を得ることができます。
- ・インターネットやゲームについては、ご家庭でルールを決めて、節度を持たせて使用させるようにしましょう。

##### 集団づくりの充実に向けて

- ・生徒会や学年リーダー会主体で、学年の枠を越えた縦割り活動の取組の充実を学校行事等を通して図り、他学年とのつながりを深めます。
- ・学校行事では、生徒が達成感や充実感を味わえるよう、一人ひとりが活躍できる場面の設定に努めます。
- ・生徒が将来の夢や目標を持ち、地域や社会に積極的に貢献できるよう、特別活動や総合的な学習の時間の取組を通して、キャリア教育の充実を図ります。
- ・絆づくりや人間関係を深めるために、終礼時におけるアシトーク（話し合い活動）の取組を行います。

